

おいしいジャガイモに舌鼓

津森小学校PTA給食試食会

6月19日、津森小学校で、PTA主催の給食試食会が行われました。

これは、今年5月に同校の学習畑「伍三郎農園」で、児童が2月から丹精込めて育てたジャガイモ350Kgが収穫され、この日、町の学校給食のメニュー（ジャガイモのスープ）に使われたのを受け実施されたものです。

1年1組では、児童10人とその保護者が、丸く机を並べ、さっそく一緒に試食しました。はじめはどんな味だろう？おいしいかな？と不安げな表情でしたが、一口、二口と食べてみると和やかな笑顔に変わり、あちらこちらから「とても甘くておいしい」「柔らかくてうまい」と満足そうな声が出ていました。



とても和やかな試食会となりました

「畫龍點睛」の書を寄贈

書家の安尾青風さんが町役場に

福原の書道師範、安尾青風（本名澄子）さん（70）が6月17日、町役場に住永町長を訪問、自作の書「畫龍點睛」（画龍点晴）の扁額を町役場に寄贈しました。躍動感に満ちた行書体で、青空のバックもイメージした堂々たる作品。

安尾さんは、書道塾「益城青風会」を開いて20年になるのを記念して、プレゼントを思い立ち、住永町長に相談、町長が「画龍点晴の故事は、物事を完璧に遂行することで、町の発展にも大切なこと」として、この書に決まったという。

町長は「早速会議室に掲げて、職員たちの心のよりどころになれば…」と感謝していました。



寄贈した書と安尾さん

どころになれば…」と感謝していました。



ましき宝箱 活動だより

ふるさとの飯田山を 気持ちよくハイキング



頂上でこやかな記念撮影



最年少の橋本優作くんは2歳7カ月で完歩しました。



常楽寺の“乱れ石積”の石段を登る

5月17日、快晴の中、ふるさとの山を知ってもらおうと、ましき宝箱（森永博之代表）が町民の皆さんに参加を募り、新緑の飯田山に登りました。

この日は、町内はもとより御船町などからも総勢21人が参加。初心者でも約2時間で登れ、今回は2歳児の最年少の男の子も含め、全員が完歩しました。野いちごを採ったり、ふるさとに関するクイズを楽しんだり、気持ちよくハイキングをしました。

なお、ましき宝箱では、8月10日（日）に地元の竹材を使った伝承遊び「竹筒五とそうめん流し」を公民館飯野分館で小中学生を対象に行い、さらに、8月30日（土）には「秋津川の自然観察会」も予定しています。いあれも大人の参加もできます。数多くの参加をお待ちしています。